

有限責任中間法人

第三者社会基盤 技術評価支援機構・北海道

HITEST



平成 18 年度 総会議事次第

日 時：平成 18 年 8 月 23 日（水）15：00～16:30

場 所：北大工学部 A101 室

司 会：志村 和紀

議題：代表理事挨拶

事務局報告

1. 設立総会議事録
2. 理事会報告
3. HITEST セミナー報告
4. 部会報告
5. その他

審議事項

1. 平成 17 年度決算及び会計監査報告
2. 平成 18 年度事業計画及び予算（案）
3. 定款の一部改定（案）
4. 出資金の持分構成変更（案）
5. 役員の改選（案）
6. その他

特別講演：石川 一 株式会社ドーコン取締役
題目「環境アセスメントに関する動向」
総会終了後（16:30）同室開始予定

懇親会：特別講演終了後（17:30 予定） 工学部特別食堂にて

1. 設立総会議事録

日 時 平成 17 年 8 月 2 日 17:00～18:30

場 所 ファカルティハウス「エンレイソウ」2 階 第 1 会議室

出席者 27 名（内委任状出席 9 名）

審議過程および議決事項

1. 発起人代表として佐伯浩副学長の挨拶があった。
2. 議長選出が行われ大沼博志氏が選出された。
3. 定款の審議が行われ、承認された。
4. 定款第 8 条により社員が承認され、また理事 19 名、監事 2 名が承認された。（定款第 19、41 条）

総数 25 名 出席者数 23 名（内委任状 9 名）

*小野 定	○新山 惇	○平川 幸三	水環境北海道	鮎田 耕一
*上田 多門	○大沼 博志	○笠原 篤	*上浦 正樹	○神谷 光彦
*岸 徳光	○佐伯 昇	*嵯峨 浩	*佐藤 馨一	○佐藤 浩一
○清水 康行	○杉本 博之	○長谷川 和義	*松岡 健一	○三上 隆
○森吉 昭博	*余湖 典昭	*渡辺 義公	○麻田 徹正	○堀口 敬

(○：出席者 *委任状出席)

5. 理事会において定款第 20 条によって代表理事として佐伯昇氏を選出した。

理事総数 19 名 出席者数 18 名（内委任状 8 名）

鮎田 耕一	*上田 多門	○大沼 博志	○笠原 篤	*上浦 正樹
○神谷 光彦	*岸 徳光	○佐伯 昇	*嵯峨 浩	*佐藤 馨一
○佐藤 浩一	○清水 康行	○杉本 博之	○長谷川 和義	*松岡 健一
○三上 隆	○森吉 昭博	*余湖 典昭	*渡辺 義公	

(○：出席者 *委任状出席)

6. 議長は以上の審議、承認を終えて退席した。
7. 代表理事の挨拶の後、理事会、社員総会が行われた。
8. 理事会において定款第 8 条により、以下社員 4 名(内 NPO 法人 1)の入社を承認した。

小野 定 新山 惇 平川 幸三 水環境北海道

9. 理事会において定款第 33 条. 3 により以下顧問 8 名を認証した。

太田 利隆 角田與史雄 佐伯 浩 杉本 泰治

田辺 忠顕 能登 繁幸 藤田 睦博 山上 徹郎

10. 定款 32 条にある倫理契約のための倫理規則が承認された。

ただし、理事会において 1 年後に見直すこととした。

11. 研究員に関する細則が承認された。(定款第 35 条. 2)

12. 平成 17 年度の事業計画および予算案(別紙 4)が提出され理事会の承認を得た。(定款第 38 条. 1)

13. 平成 17 年度の事業計画および予算案は社員総会の承認を得た。(定款第 38 条. 2)

以上

2. 理事会報告

第1回拡大理事会 議事録(案)

日時 平成17年9月29日 17:00~18:30

場所 北大工学部 A101室

出席者

新山 惇 平川 幸三 上田 多門 神谷 光彦 佐伯 昇 佐藤 浩一
杉本 博之 長谷川 和義 堀口 敬 太田 利隆 佐伯 浩 藤田 睦博
伊藤 昌勝 服部 健作 花田 真吉

委任状出席者

小野 定 鮎田 耕一 大沼 博志 笠原 篤 岸 徳光 嵯峨 浩
佐藤 馨一 三上 隆 森吉 昭博 渡辺 義公 余湖 典昭 大島 俊之

審議過程および議決事項

1. 山本尚之(定款認証などの代理人)より8月16日に公証人認証および9月29日に登記を行い法人成立(数日後確認)したことの報告があった。

2. 審議事項

1. 理事会において以下の社員および顧問の追加が認められた。

社員 上原 泰正 *大島 俊之 *鈴木 輝之 服部 健作 花田 真吉

* は総会后、理事予定者

顧問 伊藤 昌勝 吉野 伸一

2. 理事会において以下の理事が専務理事に承認された。

長谷川 和義 三上 隆 各理事

3. 8月2日承認された倫理契約について、各自押印の上事務局に提出することが承認された。

尚、まだ提出されていない方は事務局に提出するようお願いいたします

4. 社員は7つの専門分野に分割することが承認された。

ただし、別の分野に変更希望の場合、事務局に申し出ることとなった。

5. 広報活動としてパンフレットの作成、セミナー開催を行い、マスコミ関係は機を見て行うこととなった。

6. その他、研究員の細則を一部修正し、年会費を12,000円とすることが了解された。

以上

第 2 回理事会

題名 研究員承認の持ち回り理事会

差出人 Noboru Saeki

送信日 2005. 10. 24

研究員の入会には、理事 1 名の推薦および理事会の承認が必要です。

持ち回り理事会によって承認をお願いいたします。

承認の可否をお願いします。

次回の理事会に説明、正式承認を行いたいと思います。

返信期限：10 月 27 日まで

返信先：佐伯昇 saeki@eng.hokudai.ac.jp

研究員氏名	所属	推薦人
柴山 富治彦	北海道土木設計(株) 専務取締役	佐伯、平川
船谷 智浩	ショーボンド建設(株) 技術課カ長	佐伯、堀口
柳瀬 ひろし	(株)間組 営業課長	佐伯
高橋 一浩	国策建設(株) 代表取締役	佐伯、麻田
黒川 聖一	国策建設(株) 工事本部長	佐伯、麻田
熊谷 健一	日本建設コンサルタント(株) 札幌事務所長	佐伯

HITEST 代表理事

佐伯 昇

佐伯 昇 saeki@eng.hokudai.ac.jp

承認

以上 6 名の研究員が承認された。

可判定 (渡辺 義公、三上 隆、杉本 博之、笠原 篤、松岡 健一、
佐藤 浩一、神谷 光彦、嵯峨 浩、佐藤 馨一、佐伯 昇)

第3回拡大理事会 議事録

日 時：平成17年11月14日(月) 11:00～12:00

場 所：北大学術交流会館 第4会議室

出席者：13名（内委任状出席9名）

理事	上田 多門	○大沼 博志	○神谷 光彦	○岸 徳光	佐伯 昇
	○嵯峨 浩	清水 康行	○杉本 博之	長谷川 和義	○松岡 健一
	○三上 隆	○森吉 昭博	○渡辺 義公		
監事	麻田 徹正	堀口 敬			
社員	小野 定	○平川 幸三	藤田 睦博	伊藤 昌勝	上杉 泰正

○：委任状出席

審議事項

1. 研究員について以下のとおりに承認された

柴山富治彦	北海道土木設計（株）専務取締役
神谷 卓伸	オリエンタル建設（株）北海道支店
河村 巧	地崎工業（株） 土木部 技術課
須藤 敦史	地崎工業（株） 本州事業本部 技術部
新崎 義幸	日鐵セメント（株）営業本部 セメント営業部次長
熊谷 健一	日本建設コンサルタント（株）札幌事務所
高橋 一浩	国策建設（株）代表取締役
黒川 聖一	国策建設（株）工事本部長
坂口 国夫	ドーピー建設工業（株）北海道支社
荒井 信行	（株）開発工営社 水工事業本部 水工第1部
大塚 拓美	（株）熊谷組 北海道支店営業部 総括部長
柳瀬ひろし	（株）間組 土木営業部 営業課長
船谷 智浩	ショーボンド建設（株） 北海道支店 技術課長
須藤 靖彦	共和コンクリート工業（株）北海道建設部技術士会会長

2. 契約業務について下記のとおり承認された。説明内容を詳しくすることが要望された。

契約業務

(1) 部会設置が承認された

委託業務名：コンクリート製品に関する社会的ニーズと開発技術の分析と研修支援事業

委 託 者：共和コンクリート工業（株）

部 会 長：代表理事に委任

(2) 委員推薦の打診に対し、推薦を行うことが承認された

仮委託業務名：旧ニュー北海ホテル壁転倒破壊事故の調書の監修

委 託 者：旭川中央警察署

部 会 長：代表理事に委任

3. 第3回 HITEST セミナー

(予定)12月15日(木) 15:30～ エンレイソウ

担当:三上 専務理事

4. 第4回 HITEST セミナー

(予定)1月19日(木) 15:30～ 北大構内

担当:長谷川 専務理事

5. 忘年会を12月15日セミナー後に行う事となった

第4回 HITEST 理事会議事録

日 時 平成 18 年 4 月 27 日 15:30~17:00

場 所 北大工学部 A101

出席者 11名 (内委任状出席8名)

理事 佐伯 昇 ○長谷川 和義 ○三上 隆 ○上田 多門 大沼 博志
○神谷 光彦 ○嵯峨 浩 佐藤 浩一 ○清水 康行 ○杉本 博之
○渡辺 義公
監事 麻田 徹正

○：委任状出席

議事次第

1. 北海道建設部からの発注について

- (1) 「耐候性鋼材橋梁計画マニュアル(案)」の内容確認：委託契約を行なうこと、および委員長は佐藤浩一 理事が行なうことが承認された
- (2) 法面点検の結果の検証及び対策工の助言：本機構から委員を1名推薦すること、および委員には能登繁幸 顧問をすることが承認された。
- (3) 門柱レス樋門（オートゲート）のゲート開閉検証と技術基準策定：委託契約を行なうこと、および委員長は 長谷川 和義 専務理事が行なうことが承認された。

2. 契約の締結について

- (1) 平成 17 年 11 月 14 日拡大理事会において当契約について代表理事一任となっております。資料 2 のように共和コンクリート株式会社と正式に契約を締結いたしました。

契約業務

「コンクリート製品に関する社会的ニーズ、開発技術及び技術者倫理についての研修」の技術支援

期間 平成 18 年 1 月 1 日から平成 18 年 12 月末

- (2) 共同研究協定書

北海道開発土木研究所と共同研究協定を資料 3 のように締結した。

研究課題「海洋コンクリート構造物の劣化挙動に関する試験研究」

実施期間 平成 18 年 1 月 10 日から平成 18 年 3 月 31 日 (資料 3)

注：代表理事が北大に在籍中の契約であり、代表理事の所属変更のためこの名称の契約となった。形だけのもので金銭移動はない。

3. 理事及び社員の追加について

- (1) 理事の追加

加賀屋 誠一（北海道大学大学院工学研究科 教授）、杉山 隆文（北海道大学大学院工学研究科 教授）の理事の追加が認められた。承認は次回の総会となる。現在は社員として承認された。

- (2) 社員の追加

志村 和紀（北海道大学大学院工学研究科 助手 環境創生工学専攻 環境機能マテリアル工学研究室）の社員の追加が承認された。

第5回 HITEST 理事会議事録

日時：平成 18 年 6 月 28 日

場所：北大工学部 A151 室

出席者：15 名（内委任状出席 11 名）

理事	佐伯 昇	長谷川 和義	○三上 隆	○上田 多門	大沼 博志
	○笠原 篤	○岸 徳光	○嵯峨 浩	○佐藤 馨一	佐藤 浩一
	○清水 康行	○杉本 博之	○松岡 健一	○余湖 典昭	○渡辺 義公
理事予定	○大島 俊之	○鈴木 輝之			
監事	麻田 徹正				

○：委任状出席

議題：1. 総会を 8 月 23 日に行うこと及び総会における報告事項及び審議事項について承認された。

2. 委員会の設置が認められていた委員について以下のように承認された。

委員会名（案）：耐候性鋼材橋梁計画マニュアルに関する第三者評価支援委員会

委員名（案）：委員長 佐藤 浩一（北海道大学名誉教授、本機構社員）
委員 大島 俊之（北見工業大学教授 附属図書館長・副学長、本機構社員）
委員 岸 徳光（室蘭工業大学工学部教授、本機構社員）
委員 三原 慎弘（寒地土木研究所主任研究員）
委員 神田恭太郎（社団法人 日本橋梁建設協会）
オブザーバー 佐伯 昇（本機構社員）
（熊谷 健一（本機構研究員））

委員会の概要

最近、橋梁を計画する際、橋梁コスト縮減、とりわけ維持管理の容易性、維持管理費の縮減等を目的として、耐候性鋼材を採用する機運が高まってきている。採用に際しては、経済性、環境条件、設計・施工などを十分に考慮しなければならない。「北海道における鋼道路橋の設計および施工指針（北海道土木技術会鋼道路橋研究委員会 昭和 56 年 7 月）」やその他の発刊物が参考になるが、近年、新たな知見も得られているので、それらを総合的に十分検討し、的確に判断しなければならない。

これらの観点から作成した「耐候性鋼材橋梁計画マニュアル（案）」について評価支援することがこの委員会の目的である。

委員会名（案）：「オートゲートの開閉検証と技術基準に関する第三者評価支援委員会」

委員名（案）： 委員長 長谷川 和義（水理学・河川工学、本機構社員）
委員 佐伯 昇（コンクリート工学、本機構社員）
委員 神谷 光彦（土質力学、本機構社員）
委員 杉本 博之（構造力学、本機構社員）
委員 山下 彰司（河川工学、寒地土木研究所）

委員会の概要

オートゲートは堤内外の水圧差により自動開閉するゲートで、管理操作の省力化、従来のマニュアル操作時の危険性の回避、樋門・樋管のライフサイクルコストの削減などを目的として導入が検討されているものである。しかし、オートゲートは採用実績が少なく、確実に開閉するか疑問点も多いことから、北海道は平成 18 年度から 2 ヶ年の予定で現地試験施工を実施して検証を行い、構造や採用箇所などの技術基準の策定を進めたいとしている。検証および基準の策定にあたり、検証方法、水理学的照査、構造基準、採用箇所条件等について学識経験者の意見を聴取したい意向である。その際、北海道としては独自に「河川技術検討委員会」を開催し原案の作成を進めるものとしており、当機構（HITEST）は、第三者の立場からこれらの原案の評価をおこない、学術的中立的立場からの意見反映をおこなうことになる。

3. 顧問、研究員の追加

- (1) 町田 篤彦（1963 年 東大工学部卒 埼玉大学 助教授
2003 年 埼玉大学 副学長
現在 埼玉大学客員教授）

の顧問を承認した。

- (2) 鈴木 洋一（日本高圧コンクリート株式会社 PC 事業部 副部長
技術士、コンクリート診断士）

の研究員を承認した。

3. HITEST セミナー報告

第1回 HITEST セミナー

日 時：平成17年10月20日 15:30～17:00

場 所：エンレイソウ（北大構内）

話題提供：佐伯 昇

1. HITEST 発足のきっかけ
2. HITEST の必要性、重要性

参加人数：11名

設立記念セミナー（第2回 HITEST セミナー） CPD 認定プログラム

日 時：平成17年11月14日 13:20～17:00

場 所：北海道大学学術交流会館

後 援：土木学会北海道支部、JCI 北海道支部、土木技術会コンクリート研究委員会

プログラム：

開催挨拶 佐伯 浩（北海道大学理事・副学長・発起人代表） 13:20～13:35

基調講演-1 中部地区における第三者機構の活動と動向 13:35～14:35

田辺 忠頭（有限責任中間法人社会基盤技術評価支援機構・中部専務理事）

基調講演-2 北海道における第三者機構の役割を探る 14:35～15:35

佐藤 馨一（北海道大学大学院工学研究科 兼 公共政策大学院教授）

休憩 15:35～15:45

報告講演-1 公共事業における入札・契約問題の経緯 15:45～16:15

伊藤 昌勝（北海道技術士センター会長）

報告講演-2 技術者倫理と第三者機構について 16:15～16:45

佐伯 昇（北海道大学名誉教授・HITEST 代表理事）

閉会挨拶 長谷川 和義（北海道大学大学院工学研究科教授・専務理事） 16:45～17:00

参加人数：103名

第3回 HITEST セミナー CPD 認定プログラム

日 時：平成17年12月15日 15:30～

場 所：エンレイソウ第1会議室（北大構内）

講 師：佐藤 昌志 開発局維持課長

題 目：「北海道における最近の地震被害と橋脚の耐震補強について」

参加人数：27名

第4回 HITEST セミナー CPD 認定プログラム

日 時：平成 18 年 1 月 19 日 15：30～17：30

場 所：エンレイソウ（北大構内）

講 師：長谷川 和義（北海道大学大学院教授 河川・流域工学研究室）

題 目：最近の治水・河川環境に関する技術課題

参加人数：33 名

第5回 HITEST セミナー CPD 認定プログラム

日 時：2006 年 2 月 23 日 15：00～17：30

場 所：北海道大学工学部 A151 室

講 師：笠原 篤（北海道工業大学教授）

題 目：舗装マネジメントからアセットマネジメントへ

参加人数：38 名

第6回 HITEST セミナー CPD 認定プログラム

日 時：2006 年 4 月 19 日 15：00～17：30

場 所：北大工学部 A101 室

講 師：杉本 博之（北海学園大学教授）

セミナー話題提供：

北海道の橋梁の維持管理システム

- (1) SVM（サポートベクターマシン）複雑な要因からなるデータ群を分類する手法
- (2) DEA（公共事業などの順位付けに用いる手法）
- (3) ACO（Ant Colony Optimization）ありの行動もモデル化する手法で、TSP（巡回セールスマン問題）に有効
- (4) 橋梁構造物の最適耐震設計システム

参加人数：23 名

第7回 HITEST セミナー CPD 認定プログラム

日 時：2006 年 6 月 9 日 15：00～17：30

場 所：北海道大学工学部 A151 室

講 師：上浦 正樹 北海学園大学教授

題 目：鉄道線路の維持管理について

参加人数：37 名

第8回 HITEST セミナー（総会特別講演）

日 時：2006年7月25日 15：30～17：30

場 所：北海道大学工学部 A101 室

講 師：山本 哲 日本橋梁建設協会 技術委員会 無塗装部会長

題 目：耐候性鋼橋梁による LCC 縮減と現状について

参加人数：23 名

総会特別講演

日 時：2006年8月23日 16：30～17：30

場 所：北海道大学工学部 A101 室

講 師：石川 一 株式会社ドーコン取締役

題 目：環境アセスメントに関する動向

4. 部会報告

コンクリート製品に関する社会的ニーズ、開発技術及び技術者倫理についての研修支援部会
部会長：佐伯 昇

1. 2月23日 委託者と部会長との当部会についての打合せを行った。
2. 2月28日 委託者側研究所において第1回の支援部会を行った。講師：佐伯 昇
3. 3月22日 次回部会の打合せを行った。
4. 6月15日 次回部会の打合せ及び支援成果の報告（第2回支援部会）があった。
5. 7月21日 第3回支援部会を行う予定 講師：杉山 隆文 佐伯 昇

5. その他

3. 登記の一部改正（案）

1. 第2条に関して、主たる住所を明確にする

札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学大学院工学研究科 環境機能マテリアル工学研究室

定款の改正は必要なく、登記上の手続きをとる。

2. 第12条 社員名簿の追加

社員	大島 俊之	小野 定	上原 泰正
	鈴木 輝之	新山 惇	服部 健作
	杉山 隆文	平川 幸三	花田 真吉
	加賀屋 誠一	水環境北海道	
	志村 和紀		

登記上の手続きは必要なく議事録に残す。

3. 第41条 役員の追加

理事	大島 俊之
	鈴木 輝之
	杉山 隆文
	加賀屋 誠一

登記上の手続きをとる。

4. 森吉昭博 理事は任期満了により退任希望の連絡があった。

5. その他

4. 出資金の持分構成変更（案）

別紙のような様式により、佐伯昇の基金拠出の一部を理事 加賀屋誠一、理事 杉山隆文に各々5万円を引き受けてもらうことが承認された。

5. 役員改選(案)

社員・顧問・研究員

2006.8.23現在

	氏名	
顧問	太田 利隆	日本データサービス技術顧問
同	角田與史雄	北海道大学名誉教授
同	佐伯 浩	北海道大学理事・副学長
同	杉本 泰治	NPO法人科学技術倫理フォーラム理事長
同	田辺 忠顕	有限責任中間法人社会基盤技術評価支援機構・中部専務理事
同	能登 繁幸	北海道開発技術センター参与
同	藤田 睦博	北海道大学名誉教授
同	山上 徹郎	北海道建設技術センター事務理事
同	伊藤 昌勝	北海道技術士センター会長
同	吉野 伸一	JR北海道 鉄道事業本部 工務部長
同	町田 篤彦	埼玉大学客員教授、早稲田大学客員教授
代表理事	佐伯 昇	北海道大学名誉教授
専務理事	長谷川和義	河川環境管理財産 研究顧問、工学博士
専務理事	三上 隆	北海道大学工学研究科長、工学部長、評議員
理事	鮎田 耕一	北見工業大学理事・副学長
同	上田 多門	北海道大学大学院工学研究科教授
同	大沼 博志	北海道大学大学院工学研究科教授
同	笠原 篤	北海道工業大学工学部教授
同	上浦 正樹	北海学園大学工学部教授
同	神谷 光彦	北海道工業大学工学部教授
同	岸 徳光	室蘭工業大学工学部教授・学科長
同	嵯峨 浩	北海学園大学工学部教授
同	佐藤 馨一	北海道大学大学院工学研究科学科長 兼公共政策大学院教授
同	佐藤 浩一	北海道大学名誉教授
同	清水 康行	北海道大学大学院工学研究科教授
同	杉本 博之	北海学園大学工学部教授
同	松岡 健一	室蘭工業大学学長
同	森吉 昭博	北海道大学名誉教授
同	余湖 典昭	北海学園大学工学部
同	渡辺 義公	北海道大学大学院工学研究科教授
同	大島 俊之	北見工業大学 附属図書館長・副学長
同	加賀屋 誠一	北海道大学大学院工学研究科教授
同	鈴木 輝之	北見工業大学 地域共同研究センター長
同	杉山 隆文	北海道大学大学院工学研究科教授
監事	麻田 徹正	麻田徹正公認会計士事務所長
同	堀口 敬	北海道大学大学院工学研究科助教授
社員	小野 定	中央大学大学院兼任講師、東海大学非常勤講師
同	新山 惇	北海道建設業信用保証(株)社長
同	平川 幸三	北海道建設技術センター技術顧問
同	水環境北海道	NPO法人
同	上原 泰正	北日本港湾コンサルタント(株)
同	服部 健作	(財)北海道コンクリート技術センター理事長
同	花田 真吉	北海道技術士センター事業委員会委員
同	志村 和紀	北海道大学大学院工学研究科助手
研究員	柴山富治彦	北海道土木設計(株)専務取締役
同	神谷 卓伸	オリエンタル建設(株)北海道支店
同	河村 巧	地崎工業(株) 土木部 技術課
同	須藤 敦史	地崎工業(株) 本州事業本部 技術部
同	新崎 義幸	日鐵セメント(株)営業本部 セメント営業部次長
同	熊谷 健一	いであ株式会社 札幌支店 支店長
同	高橋 一浩	国策建設(株)代表取締役
同	黒川 聖一	国策建設(株)工事本部長
同	坂口 国夫	ドービー建設工業(株)北海道支社
同	荒井 信行	(株)開発工営社 水工事業本部 水工第1部
同	大塚 拓美	(株)熊谷組 北海道支店営業部 総括部長
同	柳瀬ひろし	(株)間組 土木営業部 営業課長
同	船谷 智浩	ショーボンド建設(株) 北海道支店 技術課長
同	須藤 靖彦	共和コンクリート工業(株)北海道建設部技術士会会長
同	鈴木 洋一	日本高圧コンクリート(株)PC事業部